

臨時環境調査結果のお知らせ

平成27年3月30日午前10時20分から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の臨時環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は15.6~17.1℃で、前回調査時(H27.3.27)と比較して全層で0.4~3.6℃上昇していました。塩分は10.7~32.4で、前回調査時と比較して表層で4.2低下し、1m層と2m層で0.8~0.9上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.2~12.3mg/lで、前回調査時と比較して表層と1m層で0.2~0.6mg/l増加し、2m層で0.5mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.7mでした。

検鏡の結果、ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマに似た渦鞭毛藻は、前回調査時より減少しましたが、まだ多く確認されました。

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマは、他県の事例では水温13℃~30℃、塩分21~34の環境条件で増殖し、二枚貝類を大量斃死させる有害種です。

現在、専門機関に当該プランクトンの同定を依頼しています。

結果がわかりしだい続報を発行いたします。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.3.27)	
		値	差(今回-前回)
0m	15.6	12.1	3.6
1m	17.0	15.2	1.8
2m	17.1	16.7	0.4
B-1		16.8	

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.3.27)	
		値	差(今回-前回)
0m	10.7	14.9	▲ 4.2
1m	24.2	23.3	0.9
2m	32.4	31.5	0.8
B-1		32.2	

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.3.27)	
		値	差(今回-前回)
0m	9.9	9.3	0.6
1m	12.3	12.1	0.2
2m	7.2	7.6	▲ 0.5
B-1		7.3	

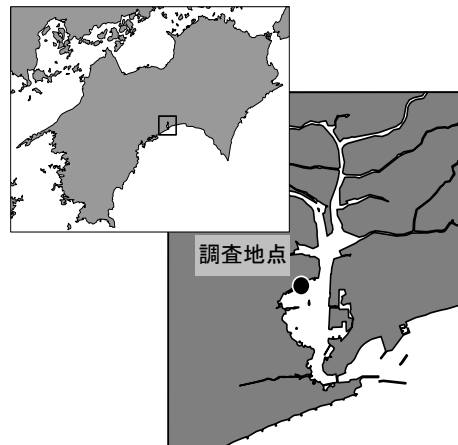


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.0	3.4
透明度	2.7	2.4

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ類似種	珪藻類		
0	1	150		
1	375	450		
2	800	300		

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ(貝類のへい死): 1,000cells/ml

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>